

令和2年度

事業実施報告書

1 概 要

令和2年度は、「第2次中期運営計画」の初年度として、これまで以上に公益法人の使命と責任感を再認識し、法人の体制強化と質の高い検診サービスの提供を目標に事業に取り組んでまいりました。しかし、令和2年度開始当初より、山形県内においても新型コロナウイルス感染症の蔓延が始まり、年度当初は検診延期・中止に、さらには休業を余儀なくされるなど、当推進機構の事業運営に大きな影響を及ぼしました。各検診センターにおきましても、安全に検診事業が推進できるよう対応策を行い、積極的に未検者対策を実施、職員一丸となって感染症対策を実施し事業に取り組みましたが、検診事業収入は前年度に比して大きくマイナスとなりました。そのような中でしたが、4つの「重点課題」の達成に向けて事業を推進して参りました。

施策1 普及啓発事業の『県民に対する健康情報等の提供の推進』は、コロナ禍により「やまがた健康フェア」等のイベントが見送りとなり、一部外部事業への協力に留まりました。がん総合相談支援事業につきましては、PR活動の実施やピアサポート養成事業は予定通り実施され相談窓口の充実が図られました。一方、コロナ禍により、がんサロン等の開催は制限され一部中止となりましたが、感染対策を行いながら11月まで12回のサロンを行うことができました。

施策2 検（健）診事業の『正確かつ満足度と質の高い検診サービス等の提供』は、2年目を迎えた基幹システムも平常稼働し、更なる安定稼働を目指し内部の管理組織を充実するなど体制強化を図りました。また、健診現場におきましては、第一に新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、実施主体のご協力を頂きながら健診を実施し、結果通知の短縮も概ね20日以内を達成できました。検診の精度管理と事業評価につきましては、がん検診チェックリストに基づく点検とプロセス指標による評価で一部満たしていない項目があり、今後も継続的に改善に向けた検討を行います。

施策3 収益力強化『持続可能な事業運営の確保』は、全組織横断的な事業収入確保に關しまして、新型コロナウイルスの影響により、事業の混乱が続いた為、所属毎の対応をまとめ上げられませんでした。毎月開催された管理者会議において、事業推進の状況を確認し、安全な検診の実施検討と前半の健診の延期やキャンセルの対応を行いました。また、検診センターの在り方検討や給与制度の見直し等が引続きの検討に留まりましたが、予算編成手法の変更や料金改定に向けた整理等は予定通り実施することができました。

施策4 危機管理体制強化『ガバナンスを強化した法人運営と人材育成』は、リスク対応体制の強化のためリスクマネジメント会議を開催、点検・見直しを行い重大トラブルの発生を防止する事が出来ました。また、プライバシーマーク取得に向け、各所でも準備整備を行いました。

詳細につきましては以下のとおりです。

令和 2 年度 各種事業評価結果

評 価	評価内容	件数 (40 件中)
達 成	達 成 指 標 に達 した	16 件 (40.0%)
一部達成	一部達成指標に達した	14 件 (35.0%)
未 達 成	達成指標に達しなかった	3 件 (7.5%)
未 着 手	取 り 組 みを行っていない	7 件 (17.5%)
実施無し	実 施 計 画 が無くなった	0 件 (0.0%)

施 策 1 普及啓発事業

重点課題 1 県民に対する健康情報等の提供の推進

事 業 計 画	評 価
(1) -①山形県主催の「やまがた健康フェア」へ参画	一部達成
(1) -②各種イベント・キャンペーン等へ参画（重点啓発月間：9月～10月）	一部達成
(2) -①積極的な PR 活動による認知度の向上	達 成
(2) -②相談員(職員)のスキルアップおよび養成	達 成
(2) -③ピアサポート養成事業	達 成
(2) -④がんサロンの充実	一部達成
(3) -①各種調査研究の積極的活動	達 成

施 策 2 検（健）診事業

重点課題 2 正確かつ満足度と質の高い検診サービス等の提供

事 業 計 画	評 価
(1) -①検診現場における安全・正確な検診の実施強化	達 成
(1) -②検体検査、読影等における精度管理の維持	一部達成
(2) -①接遇指導者を中心とした受診者に対する接遇力の向上	一部達成
(2) -②検診所要時間の短縮及び改善	一部達成
(2) -③検診結果通知期間の更なる短縮	達 成
(3) -①がん検診チェックリストに基づいた点検と公表	一部達成
(3) -②プロセス指標に基づく評価と公表	一部達成
(3) -③外部有識者で構成する検診委員会等による精度管理	達 成
(3) -④外部機関による精度管理	一部達成
(3) -⑤精密検査受診率向上	一部達成

施 策 3 収益力強化

重点課題3 持続可能な事業運営の確保

事業計画	評価
(1) -①全組織統一した事業展開	未着手
(1) -②受診者数等の数値目標の設定	未着手
(1) -③全国健康保険協会管掌生活習慣病予防健診の推進	未着手
(1) -④効果的な手法による未受診者への事後フォローの実施	未着手
(1) -⑤受診者のレポート率の向上	未着手
(1) -⑥受診者ニーズを踏まえた検診項目の充実	一部達成
(2) -①5つの検診センターの在り方に関する整理、検討	未着手
(2) -②最上検診センター改築整備基本計画策定	未達成
(2) -③給与制度の見直しの検討	未達成
(2) -④予算編成手法の検討、実施	達成
(2) -⑤検診料金の改定に向けた整理	達成
(2) -⑥固定資産等の計画的な取得、更新	達成
(2) -⑦業務の外部委託の推進	一部達成

施 策 4 危機管理体制強化

重点課題4 ガバナンスを強化した法人運営と人材育成

事業計画	評価
(1) -①法人運営体制の管理、監督の在り方の再検討	達成
(1) -②リスク対応体制の強化	達成
(2) -①全職員への教育の徹底	達成
(2) -②プライバシーマークの取得	一部達成
(2) -③検診結果データの取扱い	達成
(3) -①中堅・若手職員の育成	未着手
(3) -②研修会・学会への積極参加	達成
(3) -③職員の意識改革	達成
(4) -①法令改革等に伴う職員の働き方の見直し	一部達成
(4) -②大規模災害時の対応マニュアルの策定	未達成

2 各種事業

施策1 普及啓発事業

重点課題1 県民に対する健康情報等の提供の推進

〈事業推進の基本的な考え方〉

- ・がん征圧月間、結核予防週間、がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン、また、山形県主催のイベント等へ積極的に参画し、広く県民に、食生活改善、生活習慣病予防や、結核・がん予防に関する知識等を広く啓発し、がん検診の受診率向上や禁煙などのがん予防策等の情報を発信する。
- ・がん総合相談支援事業においては、がん患者、がんを経験した方やその家族を対象に、ピアサポーター養成講座等を開催しピアサポーターを育成するとともに、がん患者やその家族を支援することは、不特定多数の利益の増進に寄与するものであることから、目的や実施状況は、ホームページやパンフレットの配布等により広報を行う。
また、県内5ヶ所にある検診センターに相談窓口や相談案内窓口を設置し、県内全域を対象に、面談や電話等でがんに関する医療や就労等の相談業務を行う。
- ・予防医療のレベル向上や健康づくり施策に役立つデータを提供することで、公衆衛生の向上に寄与する。具体的には、検診・検査データ集計、分析等を行い、検診実施主体等に提供するなど、有効活用に取り組む。
- ・外部研究機関等へ統計データ等を提供するほか、各種学会等で職員の研究発表を行い、職員のスキルの向上を図る。

[主な内容]

(1) イベント等への参画

① 山形県主催の「やまがた健康フェア」へ参画

- 【内 容】
- ・実行委員として参画し、機構ブースを出展。来場者に対しがんに関するパンフレット等を配布する。また、無料骨密度測定を実施するとともに、がん検診の無料クーポン券を配布しつつ、別の手法の検討を行う。
 - ・山形県がん総合相談支援センターブースを出展。相談コーナーを開設し、がん相談を実施する。また、基調講演を企画し、広く当該センターの周知・PRと併せ、がんについての啓発を図る。
- 【実施状況】
- ・「やまがた健康フェア」はコロナ禍で集客での開催を見送り。代わりに、実行委員会にて健康情報を記載したガイドブック『やまがた健康ガイド2020』を20万部作成し、山形新聞購読者および、関係各所へ配布した。
 - ・機構では、ガイドブックへがん検診及び特定健診・特定保健指導に係る記事と山形県がん総合相談支援センターの広告を掲載した。
 - ・山形県がん総合相談支援センターではブース出展の代わりにピアサポーターを対象として10/31にオンラインセミナーを実施した。
 - ・次年度に向けた、効果的かつ経済的な普及啓発手法の情報収集や検討に至らず。

【評価】 一部達成

② 各種イベント、キャンペーン等への参画（重点啓発月間：9月～10月）

- 【内 容】
- ・全検診センターでのイベント・キャンペーンを実施するほか、自治体等が主催する地域のイベント等への協力・参画する。
 - ・重点啓発月間である9月～10月の結核予防週間、がん征圧月間、受診率向上キャンペーンにおいて、独自の啓発イベントを企画し、普及啓発活動を実施する。

- 【実施状況】
- ・コロナ禍により、機構独自のイベント開催は見送った。
 - ・参画状況

10/1～	上山市健康ポイント事業	(結核の常識650部提供)
10/3	山形県がん検診受診啓発イベント（イオン三川）	(ピンクリボンパネル貸出)
		(健康パンフレット4,000部提供)
10/3	庄内町がん検診受診向上対策キャンペーン	(広報媒体パネル貸出)
10/24	酒田市松山地域「松山健康福祉フェア」	(広報媒体パネルの貸出)
		(ノベルティ80部配布)
10/30 ～11/1	遊佐町各地域まちづくりセンター祭	(広報媒体パネルの貸出)
10/30	南陽高校第1学年24名探究学習	(健康講話、健康パンフレット配布)

【評価】 一部達成

(2) がん総合相談支援事業の充実

① 積極的なPR活動による認知度の向上

- 【内 容】 市町村広報誌、フリーペーパー等による広報を実施する。

- 【実施状況】
- ・市町村広報誌1回、山新スイング2回、庄内コミュニティ2回、フリーペーパー6回、やまがた健康ガイド2020にそれぞれ掲載した。
 - ・また、YBCラジオにて1週間広報を行った。
 - ・PRを兼ねた出張相談：2カ所で開催した。延べ12名（10/3イオン三川、11/30山辺町保健センター）

【評価】 達成

② 相談員（職員）のスキルアップ及び養成

- 【内 容】 研修等への参加および所長（医師）等によるカンファレンス実施と相談員（職員）を継続して養成し、全検診Cで対応できる体制を整備する。

- 【実施状況】
- ・研修会に5回参加延べ25名受講した。
 - ・所長（医師）によるカンファレンスを月1回実施した。（4月～3月）
 - ・がん相談支援センター相談員認定研修を受講した。
 - 1 基礎研修(1)(2)知識確認コース5名(修了)
 - 2 認定取得コース1名(修了)

【評価】 達成

③ ピアサポート養成事業

【内 容】 同養成講座、研修会、セミナー等を開催する。

【実施状況】

- ・養成講座： 8/23開催 10名参加
- ・研修会①： 9/27開催 29名参加
- ・研修会②： 3/14開催 27名参加
- ・ピアサポートセミナー：10/31開催 27名参加

【評 価】 達 成

④ がんサロンの充実

【内 容】 がんサロン先進地視察・体験を実施する。

がんサロン開催（月1回）、ファシリテーター等のスキルアップを図る。

【実施状況】

- ・がんサロン（山形C）：5回開催・・・6/11(8名)
7/9(13名)
9/10(まちなか15名)
10/8(11名)
11/12(まちなか15名)
- ・がんサロン（庄内C）：3回開催・・・6/25(6名)
8/27(5名)
9/24(まちなか7名)
- ・県立中央病院ひだまりカフェ：4回開催・7/10(3名)
9/11(4名)
10/9(3名)
11/13(3名)

※12月～3月のサロン、福島サロン見学はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

【評 価】 一部達成

(3) 調査研究事業の推進

① 各種調査研究の積極的活動

【内 容】 検診等のデータ集計分析、情報提供および職員の研究発表の充実を図る。

【実施状況】

- ・事業年報について発刊し関係各所へ送付した。
- ・経年的データを4機関へ及びJ-STARTのデータを1機関へ提供した。
- ・R3年度研究発表の準備を行った。（R3年度開催予定 第62回人間ドック学会に抄録提出済）
- ・日本人間ドック学会誌、日本総合健診医学会誌、山形県立病院医学誌へ論文を掲載した。
- ・AMED 胃リスク評価3年目のアンケートはR3年1月に1,122名へ発送890名より回答を回収した。（回収率79.3%）

・経年的データの提供

1.日本乳がん検診学会	「H29 乳癌検診の全国集計」
2.日本消化器がん検診学会	「H30 消化器がん検診実態調査」
3.山形県	「R1 がん検診成績及びがん検診実施状況調査」 「R1 胃及び大腸がん検診で発見された消化器がん患者調査」
4.山形県医師会	「R1 各種検診中央委員会における資料」

・学会等での論文等発表

1.日本人間ドック学会	「健診からみた心房細動有病率と治療の状況」	検査技師
2.日本総合健診医学会	「健診での採血に伴う合併症頻度についての検討」 「採血部位および使用針による違い」	看護師
3.山形県立病院医学雑誌	「検診機関における針刺事故後の対応マニュアルの作成」	医 師

【評 価】 達 成

施策２ 検（健）診事業

重点課題２ 正確かつ満足度と質の高い検診サービス等の提供

〈事業推進の基本的な考え方〉

- ・生活習慣病の改善等による疾病の予防や、疾病の早期発見・早期治療を行う為に必要とされる健康状態の指標（データ）を把握することを目的として検診を実施する。
- ・希望される方は誰でも受診でき、受益の機会を一般に設けるとともに、県内５ヶ所に検診センターを設置し、検診車も整備することによって、検診の機会を県内全地域に設ける。
- ・県内唯一の離島検診の実施や福祉施設における検診等、検診の機会が限られている過疎地域の住民や社会的弱者に対しても検診の機会を提供する。
- ・受診者のニーズを踏まえた質の高いサービスメニューの充実、接遇の向上、検診結果の迅速化等、検診環境の整備に努める。

〔主な内容〕

（１）正確な検診の実施強化と結果データの正確性の確保

① 検診現場における安全・正確な検診の実施強化

【内 容】 基幹（健診）システム検証の継続した取り組みを行う。

【実施状況】 ・基幹システム運用管理組織を構築

各部門ごとに業務分掌を定め責任の所在を明確にし、適切にシステムを管理・運用する体制を整備した。

- ・基幹システムの運用状況の検証結果に基づく課題解決と次年度に向けたシステム改修を実施した。

（改修内容）

- 1 特殊健康診断法制度改正対応
- 2 検診結果帳票類補正（機構医師の指導及び実施主体要望への対応）
- 3 結果出力帳票限定化（結果帳票誤出力防止及び結果処理期間短縮）
- 4 実施項目正確性確保（実施内容チェック機能追加（エラー表示））
- 5 特定健診詳細項目正確性確保（詳細項目の選定チェック機能追加）

【評 価】 達 成

② 検体検査、読影等における精度管理の維持

【内 容】 がん検診チェックリストを踏まえた読影医師の体制整備を推進する。

【実施状況】 ・各検診委員会にて報告した。（委員会は書面開催）

- ・胃がん検診読影医師の認定取得推進については、コロナ禍の影響により各医師会との打合せが書面開催となり、次年度対応することになった。

【評 価】 一部達成

（２）受診者満足度の更なる向上

① 接遇指導者を中心とした受診者に対する接遇力の向上

【内 容】 受診者アンケートに基づく、改善内容を把握し迅速に対応する。

【実施状況】 ・アンケートはコロナ禍により実施しなかった。

- ・身だしなみの自己チェックを全センターにて実施し、身だしなみの改善と接遇の意識づけを行った。

【評 価】 一部達成

② 検診所要時間の短縮及び改善

- 【内 容】 所要時間2時間以内を目標に、定期的な実態調査および改善策を実施する。
- 【実施状況】 ・ 定期的な実態調査と対策を行い、所要時間は2時間以上が60%から30%に減少した。
- 【評 価】 一部達成

③ 検診結果通知期間の更なる短縮

- 【内 容】 結果処理期間を管理し、がん検診チェックリストに基づく20日以内の通知を原則とし、更なる期間短縮に向けた現状把握・点検・修正を実施する。
- 【実施状況】 ・ 結果処理状況の管理体制を整備した。
検診実施月毎の結果通知期間を集計し各所属にフィードバックした。
- ・ がん検診チェックリストに基づく20日以内の結果通知を確保した。
(令和2年度)

項 目	外部委託 迄の期間	外部委託先 の作業期間	計	内部事務 処理	総日数 (送達)
年間平均 日数	13	4	17	2	19

- ・ 外部委託先のシステムを改修し、内部結果処理データの作成レスポンスをこれまでの半分程度まで短縮した。

【評 価】 達 成

(3) 検診の精度管理と事業評価

① がん検診チェックリストに基づいた点検と公表

- 【内 容】 各検診センターにおける点検と公表、不適合項目の改善策の検討と実行。
- 【実施状況】 ・ 各検診委員会にて報告した。前年度同様に胃がん検診、乳がん検診で満たしていない項目があり、引き続き改善を図っていく。
- 【評 価】 一部達成

② プロセス指標に基づく評価と公表

- 【内 容】 各検診センターの精検受診率、陽性反応的中度等、がん検診事業評価指標値の評価。
- 【実施状況】 ・ 令和元年度のプロセス指標の集計は下記のとおり

() 内は前年度の数値

令和元年度	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
要精検率	6.9%	5.7%	3.1%	1.2%	5.1%
	(7.0%)	(5.4%)	(2.6%)	(0.7%)	(5.2%)
精検受診率	79.3%	74.6%	85.0%	78.6%	90.4%
	(84.8%)	(77.4%)	(87.0%)	(85.7%)	(93.0%)
がん発見率	0.09%	0.14%	0.03%	0.08%	0.22%
	(0.09%)	(0.15%)	(0.05%)	(0.09%)	(0.24%)
陽性反応的中率	1.27%	2.50%	1.05%	6.65%	4.30%
	(1.32%)	(2.78%)	(1.76%)	(12.42%)	(4.69%)

集計表のグレー部分は許容値外

- ・ 検診委員会に集計結果を報告し、改善に向けた意見・助言を整理した。
- ・ 事業年報へ掲載した。

【評 価】 一部達成

③ 外部有識者で構成する検診委員会等による精度管理

【内 容】 6つの検診委員会、県生活習慣病検診等管理指導協議会における精度管理評価・指導に基づく精度維持及び向上を図る。

(検診委員会：11月までに開催 協議会：2月以降の開催)

【実施状況】

- ・各検診委員会は12～1月書面開催した。
- ・県生活習慣病検診等管理指導協議会へはWEBで出席した。
- ・各検診委員会の懸案事項を整理した。(下記参照)
- (循環器等健診人間ドック委員会)
 - 1 R4年度導入予定の「新規項目」の結果通知方法や精度管理等について
- (消化器検診委員会)
 - 1 全ての胃がんリスク評価検査における「B～D」群への通知について
 - 2 ピロリ菌除菌結果についての検討
- (呼吸器検診委員会)
 - 1 特記事項なし
- (子宮がん検診委員会)
 - 1 R3年度会議開催方法の検討
- (乳がん検診委員会)
 - 1 機構全体での症例検討会の検討
 - 2 乳房超音波読影システムの構築について
- (超音波検査検診委員会)
 - 1 超音波検査術者養成体制についての研修カリキュラム等の検討

【評 価】 達 成

④ 外部機関による精度管理

【内 容】 日本臨床検査技師会他5ヶ所の精度管理評価に参加する。

【実施状況】 ・外部機関による精度管理評価に参加した。

	山形	庄内	最上	米沢	南陽
1 日本臨床検査技師会（臨床検査）	100	100	100	100	100
2 山形県臨床検査技師会（臨床検査）	96.8	100	100	100	100
3 日本医師会（臨床検査）	99.4	100	99.7	98.2	98.8
4 結核予防会（胸部X線画像）	コロナ禍により中止				

※数値は評価点数

【評 価】 一部達成

⑤ 精密検査受診率向上

【内 容】 がん検診における精密検査受診率向上に向けた対応を行う。

【実施状況】

- ・事業所の精密検査未受診者へ各センターで検診3か月後・6ヶ月後に勧奨ハガキや電話勧奨を実施した。
- ・行政の精検勧奨方法の調査を各センター管轄市町村へ実施した。
調査票回収率100%
- ・事業所への新規電話勧奨を行うために実施主体を選定し交渉を行った。
- 1 交渉した実施主体への精検勧奨は令和3年度から実施することとした。

【評 価】 一部達成

施策3 収益力強化

重点課題3 持続可能な事業運営の確保

〈事業推進の基本的な考え方〉

- ・当法人を取り巻く環境変化に柔軟に対応できる自立した法人として、持続的・安定的な事業運営を推進するため、あらゆる対策を講じる。
- ・事業収入を安定的に確保するため、経年的な受診者数等の目標数値を設定する。
- ・コスト意識の組織内浸透を図るとともに、経費節減に対する総合的な取り組みを強化し、収支均衡を確保するとともに、正味財産増減計算書における経常収支の黒字を確保する。
- ・将来の固定資産整備計画を策定し、計画的に取得・更新するとともに、検診センターの再整備や基幹システム等の更新に備えた資金積立を行う。

〔主な内容〕

（１）全組織横断的な事業収入確保に向けたプロジェクトチームによる推進

① 全組織統一した事業展開

【内 容】 事業方針を決定し、具体的取組を推進し定期的な進捗管理の実施

【実施状況】 ・コロナ対応のため、具体的取組の推進に至らず。

【評 価】 未着手

② 受診者数等の数値目標の設定

【内 容】 センターごと、項目ごとの目標数値を設定し、進捗状況を管理するとともに達成に向けた協議を定期的の実施する。

【実施状況】 ・コロナ対応のため、具体的取組の推進に至らず。

【評 価】 未着手

③ 全国健康保険協会管掌生活習慣病予防健診の推進

【内 容】 受診勧奨委託契約に基づく未受診実施主体への勧奨の徹底。

【実施状況】 ・各検診センターで実施するも具体的計画の策定に至らず。

【評 価】 未着手

④ 効果的な手法による未受診者への事後フォローの実施

【内 容】 迅速な事後フォローによる受診率向上を図る。

【実施状況】 ・各検診センターで実施するも具体的計画の策定に至らず。

【評 価】 未着手

⑤ 受診者のリピート率の向上

【内 容】 継続受診勧奨の実施及び魅力のある検診の提供によるリピーターの確保。

【実施状況】 ・各検診センターで実施するも具体的計画の策定に至らず。

【評 価】 未着手

※上記①～⑤に関して、コロナ禍の事業で個別の対応としては未着手となったが、毎月の管理者会議において、実績報告、特にコロナ対応での状況把握や対策の確認等を行い事業収入確保に向けて事業推進を行った。

⑥ 受診者ニーズを踏まえた検診項目の充実

【内 容】 C T検査及び胃内視鏡検査等の新たな項目の導入に向けた整理検討。

【実施状況】 ・ 令和4年度に向けた新規項目の選定及び実施方法等の検証を実施した。
(新規オプション項目)

- 1 アミノインデックス
- 2 MC Iスクリーニング
- 3 ロックスインデックス
- 4 MAST48

(実施方法見直し)

- 1 人間ドック項目を、日本人間ドック学会推奨項目に変更した。
- 2 現在の検査項目の実施内容及びトラブル発生頻度や採算性を精査し、実施方法等の検証作業を実施した。

- 1) 眼底検査を片眼撮影から両眼撮影に変更
- 2) 骨粗しょう症検診の所外検診の実施とりやめ
- 3) 子宮がん検診車による同検診の実施とりやめ(検診車更新中止)

・ C T検査及び胃内視鏡検査の導入の検討は、情報収集に留まり具体的な検討には至らず。

【評 価】 一部達成

(2) 安定的な収支運営確保

① 5つの検診センターの在り方に関する整理、検討

【内 容】 業務の集約や分散、組織（配置）の見直し等、多方面にわたる分析・検討を行い、検診センターの在り方（役割）等を整理する。

【実施状況】 ・ 新型コロナウイルス感染状況の影響により状況が停滞していることから未検討。2月頃開催予定だった会議も未実施。

【評 価】 未着手

② 最上検診センター改築整備基本計画策定

【内 容】 令和6年度の開業を目指し、整備計画の策定、業者選定等を進める。

【実施状況】 ・ 新築または増改築の検討のため、フリーハンドによる図面を作成したが、検討までには至らなかった。
・ 工期、工法等について業者から情報を得るも検討までには至らなかった。工法の違いによる坪単価について調査した。

【評 価】 未達成

③ 給与制度の見直しの検討

【内 容】 公益法人としての適切な給与制度の検討、見直しを図る。

【実施状況】 ・ 同一労働同一賃金に関して、ガイドラインに基づき、諸手当について不合理な待遇となっていないか精査したものの基本給の点検、検討までには至らず。

【評 価】 未達成

④ 予算編成手法の検討、実施

【内 容】 予算要求シーリング等の要求手法の実施に向けた検討を進める。

【実施状況】 ・ 将来に渡る厳しい財政運営に備え、収支均衡の確保と事務の効率化を図るため、令和3年度の予算より新たな予算要求手法として「シーリング方式」を導入し予算編成作業を開始した。

【評 価】 達 成

⑤ 検診料金の改定に向けた整理

【内 容】 今後5年間の人件費のシミュレーションおよび固定資産整備計画等を策定し、多方面にわたる分析を行ったうえで適正な検診料金を算定、令和3年度の改定を目指す。

【実施状況】 ・ 検診料金の改定は、実施主体への丁寧な説明と承認に十分な時間が必要と判断し、同料金の改定時期を令和3年度から令和4年度に変更した。

(算定方法)

今後10年間の収支均衡を堅持する為に必要な収益額を基に、原価計算や保険点数を用いて算定を行い、また、県内外の健診機関の料金を大きく上回ることがないように留意し、適正かつ競争力のある検診料金を算定した。

(進め方)

令和2年度第5回通常理事会（3月）で「令和4年度検診・検査料金(案)」を報告。今後は、事前に実施主体や関係団体に説明し、頂いたご意見を基に協議を進め、正式には令和3年度通常理事会（6月）で承認をいただく方針である旨を報告し了解を得た。

【評 価】 達 成

⑥ 固定資産等の計画的な取得、更新

【内 容】 長期使用を基本とした検診機器等の適切な更新整備を行う。

【実施状況】 ・ 今後10年間の固定資産整備計画を策定

固定資産整備費用が概ね100万円を超える全ての固定資産を洗い出し、長期使用を原則に今後10年間の整備計画を策定した。

・ 今後10年間の固定資産整備計画に基づき、年度ごとの減価償却費を算定し、検診・検査料金算定時の基礎情報として活用した。

【評 価】 達 成

⑦ 業務の外部委託の推進

【内 容】 確実に効果が認められる業務を選定し、導入に向けた検討を進める。

【実施状況】 ・ 新たな外部委託業務の選定の検討

確実に効果が認められる業務であることを条件に業務の洗い出しを開始。最終工程は令和4年1月末までに取り纏める。

・ 既に外部委託している業務の検証

費用対効果や業務の省力化等の効果検証を行い、契約の見直し又は外部委託の廃止についての検討を開始。最終工程は令和4年1月末までに取り纏める。

【評 価】 一部達成

施策4 危機管理体制強化

重点課題4 ガバナンスを強化した法人運営と人材育成

〈事業推進の基本的な考え方〉

- ・ガバナンス（企業統治）を強化するため、コンプライアンスを維持・改善し、さらには生産性を向上させるための具体的な管理体制を整備し、法人運営の透明性を確保するとともに、当法人の社会的な価値を高める。
- ・公益性と健全性が両立する自立した法人運営を図る。
- ・個人情報を取扱う事業者として、内部研修、内部監査を強化し厳格な保護管理体制を構築する。
- ・職員の意識改革を進めながら、役職に応じた業務の分析・対応能力を備えた人材の育成を図るとともに、働きやすい職場環境の整備を行う。
- ・同一労働同一賃金に対する対策を講じるとともに、ワークライフバランスの実現に向けた取り組みを強化し、働き方改革を推進する。

〔主な内容〕

（１）ガバナンスの強化

① 法人運営体制の管理・監督の在り方の再検討

【内 容】 管理者会議及び役職員にリスク情報が迅速に伝達できるよう、報告事項の充実及び報告プロセスの再整備し、組織末端までの情報共有及び再発防止策等の周知徹底を図る。

【実施状況】 ・12月臨時理事会にて内部通報制度運用規程を改正した。

【評 価】 達 成

② リスク対応体制の強化

【内 容】 リスクマネジメント会議及び同支部会議等で対策を検討・改善策を推進し、PDCAサイクルによる点検・見直しを行うこととし、持続性、実効性を支える環境の強化を図る。

【実施状況】 ・令和3年4月規程改正を実施、職員に周知を行った。・リスクマネジメント会議開催は年回5回開催した。（コロナ等の影響で回数1回減）

令和2年度 事故報告件数

所 属	レベル1	レベル2	レベル3	計	《参考》 令和元年度
山形検診センター	116	15	0	131	115
庄内検診センター	33	20	0	53	31
最上検診センター	21	9	0	30	23
米沢検診センター	39	9	0	48	58
南陽検診センター	78	14	0	92	39
合 計	287	67	0	354	266

【評 価】 達 成

(2) 個人情報管理体制の強化

① 全職員への教育の徹底

【内 容】 個人情報管理に関する教育の定期的な実施

【実施状況】 ・ 職員全体研修において個人情報管理に関する教育を実施（R3.3）
プライバシーマーク規格である「JISQ15001:2017」で求める職員教育を網羅した内容で教育を実施した。

（教育内容）

- 1 個人情報保護方針
- 2 個人情報マシ ャシステムに適合することの重要性及び利点
- 3 個人情報マシ ャシステムに適合するための役割及び責任
- 4 個人情報マシ ャシステムに違反した際に予想される結果

【評 価】 達 成

② プライバシーマークの取得

【内 容】 令和2年度中に、個人情報保護マネジメントシステムを構築するとともに、PDCAサイクルに基づいた運用を確立し、令和3年度の認定取得を目指す。

【実施状況】 ・ 当該年度におけるプライバシーマーク取得に向けた作業工程を推進した。

（実施内容）

- 1 個人情報保護方針の策定 (R2年10月終了)
- 2 個人情報マシ ャシステム(PMS)保護体制の構築 (R3年 3月終了)
- 3 個人情報の洗い出しと特定 (一部終了)
- 4 個人情報のリスク分析と対策の検討 (一部終了)
- 5 内部規定の見直しと新規策定 (R3年 3月終了)
- 令和2年度第5回通常理事会にて承認
- 6 職員に対する個人情報に関する教育の実施 (一部終了)

【評 価】 一部達成

③ 検診結果データの取扱い

【内 容】 検診結果の確実な納品及び受領書による記録管理の徹底と、結果データ修正の履歴記録及び修正手続の厳格化を図る。

【実施状況】 ・ 現行の検診結果（個人情報）の管理体制を整備
プライバシーマークの取得に向け、個人情報マシ ャシステム(PMS)を構築し、検診結果に関する全ての個人情報を洗い出し、個人情報漏洩リスクを整理。検診結果に関する厳格な個人情報の管理体制を整備した。

【評 価】 達 成

(3) 人材育成

① 中堅・若手職員の育成

【内 容】 人材育成計画を策定し、次世代を担う職員を育成する。

【実施状況】 ・ 人材育成計画は未策定となった。

【評 価】 未着手

② 研修会・学会への積極参加

【内 容】 職員のスキルアップや単位取得に繋がる研修会・学会等への積極的参加を促す。

【実施状況】 ・ コロナ禍において、WEB開催などの研修会等には参加者を増員するなど積極的な参加を推進した。

【評 価】 達 成

③ 職員の意識改革

- 【内 容】 確認漏れ、ルール違反等の職務怠慢及び独断等による事故等の防止策の策定。
- 【実施状況】
- ・ リスクマネジメント会議において、2ヶ月に1回定期的に対策会議等を開催し事故防止策の決定、周知徹底を図った。
 - ・ 同会議及び支部会議において、リスク事象の分析を行い、防止策のマニュアルを策定した。（施策4-1-2と関連）
 - ・ 3/4・5、職員全体研修でリスクマネジメントに関する講演を企画し、職員教育を実施した。
- 【評 価】 達 成

(4) その他

① 法令改革等に伴う職員の働き方の見直し

- 【内 容】 同一労働同一賃金、非正規職員の処遇改善、在り方の整理を行う。
- 【実施状況】
- ・ 同一労働同一賃金に関して、ガイドラインに基づき、諸手当について不合理な待遇となっていないか精査した。しかし、顧問社労士との改正事項の決定までは至らず。
- 【評 価】 一部達成

② 大規模災害時の対応マニュアルの策定

- 【内 容】 水害等の避難計画の策定。
- 【実施状況】
- ・ ハザードマップなどの情報を基に内容を検討したが、避難計画の最終的な決定までは至らず。
- 【評 価】 未達成

(参考資料)

各 種 検 診 ・ 検 査

検診・検査項目			令和２年度		増減	山形検診センター		
			当初計画	実績		当初計画	実績	
特 定 健 康 診 査			54,760	51,640	△ 3,120	18,715	17,008	
特 定 保 健 指 導			3,930	4,231	301	1,410	1,436	
胃 が ん 検 診			40,404	38,806	△ 1,598	15,390	14,783	
		(単＋ド＋全)	90,387	86,782	△ 3,605	27,961	26,483	
大 腸 が ん 検 診			65,387	62,966	△ 2,421	24,227	22,559	
		(単＋ド＋全)	131,337	127,069	△ 4,268	41,897	38,930	
子宮頸がん検診		細胞診	17,631	17,173	△ 458	4,730	4,578	
		HPV併用	1,025	992	△ 33	225	222	
		(単＋ド＋全)	37,307	35,967	△ 1,340	11,315	10,775	
乳がん検診		マンモ単	14,056	13,847	△ 209	3,145	2,951	
		(単＋ド＋全)	30,119	29,435	△ 684	8,945	8,451	
		併 用	3,765	3,138	△ 627	990	884	
		(単＋ド)	6,275	5,385	△ 890	1,940	1,750	
		視・触診	10	9	△ 1	10	5	
		(単＋ド)	10	9	△ 1	10	5	
		乳房超音波	1,600	1,066	△ 534	745	596	
		個 別 (X線)	15	16	1	0	0	
呼 吸 器 検 診	肺 が ん 検 診	X 線	55,120	52,574	△ 2,546	20,120	18,632	
		(単＋ド)	88,206	83,707	△ 4,499	31,780	29,542	
		喀 痰	2,022	1,971	△ 51	953	895	
		(単＋ド)	2,722	2,504	△ 218	1,273	1,146	
	結核検診	X 線	22,926	22,261	△ 665	13,670	13,774	
		(単＋定＋ド＋全)	107,782	106,152	△ 1,630	38,600	37,390	
人 間 ド ッ ク			34,670	32,615	△ 2,055	12,235	11,316	
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診			35,350	35,226	△ 124	6,700	5,980	
腹部超音波検査			34,310	31,774	△ 2,536	11,760	10,614	
		(単＋全)	35,355	32,787	△ 2,568	12,000	10,826	
一 般 検 査		定 健	A健診	54,461	53,208	△ 1,253	19,490	19,294
			B健診	12,380	10,713	△ 1,667	6,790	5,693
		その他(延べ件)		568,161	532,344	△ 35,817	220,329	198,910
学 校 検 診 (延べ件)			43,720	34,721	△ 8,999	4,720	4,604	
前 立 腺 が ん 検 診			21,645	19,400	△ 2,245	7,090	5,866	
骨密度測定		U S	15,040	12,194	△ 2,846	1,230	371	
		D X A	2,480	2,292	△ 188	2,480	2,292	
肝 炎 ウ イ ル ス 検 診			4,475	4,497	22	1,360	1,725	

(注1) 単＝単独検診 定＝定期健康診断 ド＝人間ドック
全＝全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診
(注2) 上記各種検診には、離島や過疎地における出張検診、社会福祉施設等の健康診断を含む

の 実 績 人 員 (単位：人)

庄内検診センター		最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター	
当初計画	実績	当初計画	実績	当初計画	実績	当初計画	実績
15,495	14,985	5,760	5,555	5,110	4,573	9,680	9,519
740	852	940	987	360	477	480	479
9,480	8,982	3,430	3,328	5,069	4,695	7,035	7,018
22,500	21,399	12,840	12,366	10,976	10,568	16,110	15,966
15,770	15,629	6,300	6,272	7,510	7,123	11,580	11,383
33,225	32,573	18,310	18,277	14,890	14,580	23,015	22,709
4,275	4,068	1,800	1,898	2,576	2,330	4,250	4,299
15	22	780	743	0	0	5	5
8,855	8,376	5,450	5,527	4,458	4,082	7,229	7,207
1,645	1,663	2,900	2,966	2,656	2,418	3,710	3,849
4,355	4,304	6,500	6,522	4,286	4,024	6,033	6,134
1,715	1,266	0	0	0	0	1,060	988
2,465	1,881	0	0	0	0	1,870	1,754
0	4	0	0	0	0	0	0
0	4	0	0	0	0	0	0
130	125	200	248	170	60	355	37
0	0	0	0	0	0	15	16
14,950	14,454	6,890	7,056	4,200	3,716	8,960	8,716
23,300	22,137	13,665	13,339	5,896	5,406	13,565	13,283
290	289	250	252	219	167	310	368
355	330	460	399	234	177	400	452
2,880	2,878	1,555	1,113	2,851	2,662	1,970	1,834
24,035	24,347	12,465	12,341	16,730	16,466	15,952	15,608
8,695	8,095	7,025	6,535	1,940	1,939	4,775	4,730
9,750	9,993	5,720	6,006	5,840	5,924	7,340	7,323
7,230	6,454	6,135	5,878	3,910	3,620	5,275	5,208
7,480	6,682	6,355	6,088	4,050	3,807	5,470	5,384
13,990	13,539	5,595	5,585	8,161	7,899	7,225	6,891
2,200	1,925	905	826	1,685	1,596	800	673
119,070	118,856	59,895	60,793	101,429	83,845	67,438	69,940
15,385	14,797	5,980	5,342	14,420	6,874	3,215	3,104
7,160	6,515	2,690	2,559	1,590	1,384	3,115	3,076
6,820	5,828	2,500	2,193	1,800	1,201	2,690	2,601
0	0		0		0		0
645	643	765	697	250	286	1,455	1,146

(参考資料)

各 種 検 診 事 業

区 分	令和 2 年度		最終決算額 -最終予算額 増 減	山形検診センター		庄内検診センター	
	最終予算額	最終決算額		最終予算額	最終決算額	最終予算額	最終決算額
特 定 健 康 診 査	637,181,000	713,912,040	76,731,040	216,175,000	249,317,221	164,764,000	196,748,899
特 定 保 健 指 導	49,411,000	54,502,451	5,091,451	16,228,000	17,028,560	9,856,000	11,569,893
人 間 ド ッ ク	805,586,000	709,994,712	△ 95,591,288	279,276,000	253,165,099	193,873,000	161,440,049
協 会 け ん ぽ 健 診 受 託 事 業 (生 活 習 慣 病 予 防 健 診)	603,252,000	616,531,518	13,279,518	104,928,000	104,443,934	162,885,000	170,013,612
一 般 検 査	663,470,000	713,781,344	50,311,344	243,018,000	259,864,468	175,295,000	168,860,364
結 核 ・ が ん 等 単 独 検 診	182,544,000	134,028,711	△ 48,515,289	62,645,000	33,034,908	36,230,000	33,461,812
学 校 検 診	37,352,000	49,806,950	12,454,950	15,685,000	26,678,040	7,625,000	8,695,370
受 託 料 等	49,958,000	51,666,641	1,708,641	14,756,000	13,181,584	9,107,000	10,571,398
合 計	3,028,754,000	3,044,224,367	15,470,367	952,711,000	956,713,814	759,635,000	761,361,397

(注) がん総合相談支援センター他 受託事業 には、若者に対するがん相談支援事業及びAMED研究事業が含まれております。

また、若者に対するがん相談支援事業で生じる結核・がん等単独検診の最終予算額・最終決算額は各検診センターへ実績計上されております。

の収入実績

(単位：円)

最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター		がん総合相談支援センター 他 受託事業	
最終予算額	最終決算額	最終予算額	最終決算額	最終予算額	最終決算額	最終予算額	最終決算額
68,198,000	87,102,830	69,992,000	67,469,916	118,052,000	113,273,174	0	0
12,867,000	14,137,440	3,919,000	5,473,189	6,541,000	6,293,369	0	0
165,325,000	138,418,606	51,487,000	46,930,588	115,625,000	110,040,370	0	0
101,789,000	105,499,760	107,927,000	109,489,744	125,723,000	127,084,468	0	0
69,833,000	76,814,234	93,997,000	109,124,186	81,327,000	99,118,092	0	0
20,838,000	19,779,029	15,614,000	5,524,498	47,217,000	42,228,464	0	0
4,557,000	4,353,680	5,825,000	6,523,880	3,660,000	3,555,980	0	0
3,862,000	4,872,334	1,919,000	2,059,274	6,298,000	6,879,137	14,016,000	14,102,914
447,269,000	450,977,913	350,680,000	352,595,275	504,443,000	508,473,054	14,016,000	14,102,914

3 法人運営等

1 役員会

・評議員会

開催日	会議名	議題事項
令和2年5月20日	第1回 (臨時) 評議員会	「評議員の辞任に伴う後任者の選任」の件
		評議員全員の書面同意決議
令和2年6月25日	第2回 (定時) 評議員会	「令和元年度事業報告」の件 「令和元年度貸借対照表・ 正味財産増減計算書及び財産目録」承認の件 「評議員の任期満了に伴う選任」の件 「理事の任期満了に伴う選任」の件 「監事の任期満了に伴う選任」の件 「役職員の報酬及び給料等の状況」報告の件
		評議員全員の書面同意決議
令和3年3月24日	第3回 (臨時) 評議員会	「公益財団法人やまがた健康推進機構定款 の一部を改正する定款の制定」承認の件 「理事の辞任に伴う後任者の選任」の件
		評議員全員の書面同意決議

・理事会

開催日	会議名	議題事項
令和2年5月8日	第1回 (臨時) 理事会	「令和2年度 第1回臨時評議員会の決議の省略」承認の件
		理事全員の書面同意決議
令和2年6月10日	第2回 (通常) 理事会	「令和元年度事業報告及び附属明細書」承認の件 「令和元年度決算財務諸表及び財産目録」承認の件 「令和元年度資金収支計算書」承認の件 「令和元年度収支相償等の計算書類」報告の件 「令和元年度理事の取引」報告の件 「定時評議員会の招集及び提出議案」承認の件 「特定保健指導に係る料金の設定」報告の件 「第一次中期運営計画最終評価」報告の件 「雇用調整助成金等の申請 に関する休業協定書の締結」承認の件 「業務執行状況」報告の件
		理事全員の書面同意決議
令和2年6月25日	第3回 (臨時) 理事会	「理事長（代表理事）の互選」の件 「副理事長の互選」の件 「専務理事（業務執行理事）の互選」の件
		理事全員の書面同意決議

令和 2 年 12 月 8 日	第 4 回 (臨時) 理事会	「令和 2 年度事業実施状況」報告の件 「令和 2 年度資金収支中間決算見込」報告の件 「令和 2 年度資金収支補正予算」承認の件 「新規実施項目に係る料金の設定」報告の件 「令和 3 年度検診・検査料金」承認の件 「内部通報制度運用規程の一部を 改正する規程の制定」承認の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事 9 名 出席監事 1 名
令和 3 年 3 月 9 日	第 5 回 (通常) 理事会	「令和 2 年度資金収支補正予算」承認の件 「令和 3 年度事業実施計画」承認の件 「令和 3 年度収支予算」承認の件 「令和 3 年度資金収支予算」承認の件 「決議省略による臨時評議員会の招集 並びに提出議案」承認の件 「やまがた健康推進機構の 事務局設置（組織再編）」承認の件 「組織再編等に伴う関係規程 の一部を改正する規程の制定」承認の件 「重要な使用人の選任及び解任」承認の件 「給与規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「個人情報保護規程の制定」承認の件 「令和 4 年度検診・検査料金」報告の件 「令和 3 年度理事の取引」承認の件 「令和 2 年度やまがた健康推進機構労働組合 との話し合いの経過」報告の件 「時間外労働及び休日労働に関する協定の締結」承認の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事 10 名 出席監事 1 名

2 役員等に関する事項（令和3年3月31日現在）

評議員 8 名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
評 議 員	荒木 泰子	R2.6.25	令和 6 年開催の定時評議員会 終結の時まで	
	岩田 雅史	R2.6.25		
	太田 宏明	R2.6.25		
	大場 昭悦	R2.6.25		
	神村 裕子	R2.6.25		
	今田 裕幸	R2.6.25		
	武田 弘明	R2.6.25		
	中條 明夫	R2.6.25		

五十音順

理事 10 名・監事 2 名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
理 事 長	中目 千之	R2.6.25	令和 4 年開催の定時評議員会 終結の時まで	代表理事
副理事長	菊地 惇	R2.6.25		
専務理事	渡邊 一夫	R2.6.25		業務執行理事
理 事	小林 正義	R2.6.25		
	後藤 敏和	R2.6.25		
	齋藤 潔	R2.6.25		
	佐藤 顕	R2.6.25		
	佐藤 徳彦	R2.6.25		
	三條 典男	R2.6.25		
	深尾 彰	R2.6.25		
監 事	奥山 享	R2.6.25		
	粕谷 真生	R2.6.25		

五十音順

顧問 2 名

役名	氏名	委任年月日	備考
顧 問	有海 躬行	H26.6.27	
	徳永 正靱	H30.6.26	

3 職員に関する事項 (令和3年3月31日現在)

各検診センター所長及び副所長

所 属	職 名	氏 名	職 名	氏 名
山形検診センター	所 長	後藤 敏和	副所長	佐藤 徳彦
庄内検診センター	所 長	佐藤 顕	副所長	上野 俊幸
最上検診センター	所 長	三條 典男	副所長	吉田 研
米沢検診センター	所 長	小林 正義	副所長	荒井 信行
南陽検診センター	所 長	齋藤 潔	副所長	鈴木 順一

4 職種別職員数 (令和3年3月31日現在)

(単位：名)

職種	医師	事務 業務	診療放射 線技師	保健師	看護師	管理 栄養士	臨床 検査技師	細胞 検査士	合計
正規職員	0	72	27	16	37	5	26	2	185
	0	△2	0	4	5	0	△4	0	3
再雇用 職員	0	4	1	0	0	0	6	1	12
	0	3	1	0	0	0	2	1	7
嘱託職員	10	88	0	1	23	0	4	0	126
	0	4	0	△2	△4	0	0	0	△2
合計	10	164	28	17	60	5	36	3	323
	0	5	1	2	1	0	△2	1	8

※役員4名は含めず記載。

※副所長級の医療技術職は事務に集計。

※嘱託職員は年間の雇用人数。

※上段は令和3年3月31日の人数、下段は対前年度同期との増減人数を記載。

※休業職員 保健師2名

附属明細書

当該事業報告の記載をもって、附属明細書の記載を省略します。